

(株)バイクハウスアベ/阿部社長 様 お礼と今後について



拝啓、貴社におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご厚情にあずかりまして、心より感謝いたしております。

まず初めに、ご報告させていただくことがございます。

私は今年いろいろな事情が重なりレース活動を継続していける状況でなくなったと判断し、非常に残念ではありますが、昨年を持ちまして28年間継続してきたサイドカーレースから引退することといたしました。長い間大変お世話になりました。御社の厚いご支援、大変ありがたく感謝いたしております。

その間8度の全日本チャンピオンを獲得。2001年には世界選手権開幕戦オーストラリア・フィリップアイランドにスポット参戦しました。予選を通過、決勝は記録的な嵐の為、コースが水没!中止!!このレースへの準備期間と費用を考えると…今となってはイイ思いで話します。今後私は、サイドカーレースの発展のために広報活動等サイドカーレースを支援していく予定です。

サイドカーレースは他のモータースポーツと比較して、まだまだマイナーなモータースポーツですが、日本レーシングサイドカー協会として積極的にイベント参加活動も展開しております。御存知のように、2000年の大噴火により甚大な被害を受けた三宅島の災害復興事業として「チャレンジ三宅島モーターサイクルフェスティバル」が東京都の全面的バックアップにより、2007年より開催されています。このイベントに日本レーシングサイドカー協会も参加協力してまいりました。

「チャレンジ三宅島モーターサイクルフェスティバル」は'07年三宅島本島での公道をレーシングマシンが走行する日本初のバイクイベントとしてと注目を集めました。中でも、島民はもとより、多くのマスコミ関係者でも初めて目にするレーシングサイドカーの走行はアクロバティックなパッセンジャーのアクション、そしてその特異なフォルムが新鮮な驚きをもって迎えられました。三宅島役場のホームページヘッダーには今も私の走行シーンが使用されております。

翌年7月には、お台場にて告知イベントを開催。16000人以上もの観客を集めました。

ここでも初めてレーシングサイドカーの走行シーンを目にする大観衆の前でのデモ走行、大いに注目を集めました。

そして10月、「チャレンジ三宅島'08モーターサイクルフェスティバル」では、このフェスティバルではなくてはならない存在として大会関係者そして島民からも歓迎されました。

このイベントに参加した私も含めたボランティアの仲間は、今三宅島で何が起きているのかを伝えなければと思い、自費出版で記録本を出版する事にしました。より多くの人たちの目に触れ、このイベントの主旨を理解していただきより多くの来島者が増える事を期待しこの記録本を制作しました。それが同封したこの記録本です両面表紙となっており、反対側からは三宅島の観光ガイドブックとなっております。この中でもレーシングサイドカーはその存在感を主張しています。

今年からは日本のバイクメーカー4社も参加協力を表明しており、今まで以上に注目を集めるバイクイベントとして発展していく事が期待できます。

私はレース活動からは引退し、既に自分のマシンも売却してしまいましたが、サイドカーレースの広報活動の一環として、今年の「チャレンジ三宅島モーターサイクルフェスティバル」に関しては、マシンを提供してくれるレース仲間がおりますので、5/17のお台場、10月の三宅島のイベントに参加予定です。

この他のイベント参加ですが、この「チャレンジ三宅島モーターサイクルフェスティバル」参加がきっかけとなり、8/10(月)群馬県・伊勢崎オートで開催されるG1レースにおいて、レーシングサイドカーによる先導車/競技の合間のデモ走行を務める依頼もいただき、レーシングサイドカー2~3台による走行(私も走行予定です)と展示をいたします。現在、細部を調整中です。



We love SIDECAR RACE! since 1981

横浜市鶴見区東寺尾 3-6-12 〒230-0077
(有)アクセルワーク内 土屋 芳光
PHONE/FAX:045-573-9380
e-mail:tutiya@bun.ne.jp





このイベントは伊勢崎オート開催でのBIGレースでインターネットTVによる放映やポスター・一般家庭にも配付されるチラシでもレーシングサイドカーのイベント参加が告知されるとの事です。

伊勢崎オートでのイベント参加がサイドカーレースへの観客増加や参加希望者増加に繋がる切っ掛けになれば良いのですが、直接的な効果にはならなくても、イベント参加の実績を重ねていく事で、より多くの一般の方にサイドカーレースの存在をアピールし、サイドカーレースを認識し関心を持って注目してもらえる存在となり、そしてより多くの企業のサポートをいただけサイドカーレーサーが増え、サイドカーレースを継続しやすいレース環境に発展させていければと、考えております。

私は第一線のレースからは退きましたが、サイドカーレースの広報活動として、多くの観客そしてマスメディアにも取り上げられるイベントに参加走行をする機会があります。引き続き、ご支援いただければ幸いです。

私が借りて走行するマシンやレーシングスーツに貴社ブランドロゴマークを掲示、広報宣伝のお手伝いも継続できます。

今後ともよろしく願いいたします。

2009年 JRSAスケジュール

■ RACE F1/2 CLASS

- ・ 4/19 筑波サーキット
- ・ 6/7 富士スピードウェイ
- ・ 9/6 富士スピードウェイ
- ・ 11/8 筑波サーキット

■ RACE F4 CLASS

- ・ 4/12 白糸スピードランド
- ・ 5/17 榛名モータースポーツランド
- ・ 9/6 白糸スピードランド
- ・ 10/18 榛名モータースポーツランド
- ・ 11/15 白糸スピードランド

■ IVENT

- ★5/5 エビスサーキットF1/2/4 走行会
- ★5/17 チャレンジ三宅島モーターサイクルフェスティバル プレイイベント イン お台場
- ★8/10 伊勢崎オートレース場/ムーンライトチャンピオンカップ争奪戦にて先導車&デモ走行
- ★10/23~25 チャレンジ三宅島モーターサイクルフェスティバル

★印に私も参加・走行予定です

長い間ご支援誠にありがとうございます
サイドカーレースとともにも今後とも
よろしくお願ひいたします。 *Yoshiaki*
土屋



We love SIDECAR RACE! since 1981

横浜市鶴見区東寺尾 3-6-12 〒230-0077
(有)アクセルワーク内 土屋 芳光
PHONE/FAX:045-573-9380
e-mail:tutiya@bun.ne.jp

